



●笠懸保健センター ☎(76)2510
●大間々保健センター ☎(72)2211
●東支所 ☎(76)0984

問い合わせ先

6月から個別検診が始まります

次の検診は、集団検診のほかに、個別検診として指定の医療機関でも受けることができます（集団検診か個別検診のどちらか1回のみ）。

詳細は、オレンジ色の封筒で送付しました「令和3年度がん検診等のお知らせ」をご確認ください。

●大腸がん・胃がんリスク・前立腺がん検診

みどり健診（特定健診・後期高齢者健診など）と一緒に受診できます。

実施期間 6月～10月

対象 大腸がん検診：40歳以上の
人、胃がんリスク検診：41・46・51・56・61・66・71歳で未受診の人、前立腺がん検診：50歳以上の男性

●歯周病検診

実施期間 6月～10月

対象 20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の
人

●胃内視鏡（胃カメラ）検査

実施期間 6月～12月

対象 50歳以上の人で、申し込み後に決定通知書が届いている人

●子宮頸がん・乳がん検診

実施期間 7月～12月

対象 子宮頸がん検診：20・21歳の女性、22歳以上で前年度受けていない女性、乳がん検診：40・41歳の女性、42歳以上で前年度受けていない女性

※乳がん検診は予約制で、6月1日から受け付けを開始します。

※集団検診では、視触診を実施しませんので、希望する人は個別検診を受診してください。

ださい。

●各検診共通事項

持参する物 受診シール、保険証、個人負担金

その他 70歳以上の人は無料、市民税非課税世帯・生活保護世帯の人は申請により無料です。

5月31日は

「世界禁煙デー」です

喫煙は、がんや脳卒中、心筋梗塞、COPD（慢性閉塞性肺疾患）など喫煙者本人の健康に大きな影響を与えます。さらに、副流煙などによる「二次喫煙」や、喫煙者の衣類に残る有害物質による「三次喫煙」などの受動喫煙は、周囲の人の健康にも悪影響を及ぼします。



～子どもの事故防止～



子どもは、運動機能の発達とともに好奇心が育まれていく一方、さまざまな事故に遭う恐れがあります。危険と安全について十分に教えてあげてください。

1歳～4歳頃に起こりやすい事故と予防ポイント

★転落・転倒（ベランダや階段などからの転落）

箱、家具など踏み台になるようなものをベランダや窓際に置かない。

★溺れる（浴槽に落ちる、水遊び）

わずかな水でも残し湯はしない。お風呂場に外鍵をかける。水遊びのときはライフジャケットを着ける。目を離さない。

★誤飲・中毒・窒息（医薬品などを誤って飲む）

危険なものは子どもの目にふれない、手の届か

ないところに片付ける。大きめの氷やアイスの棒、ゼリーなどには十分注意し、ピーナツなど乾いた豆類を食べさせない。

★交通事故（道路への飛び出し）

手をつないで歩く。三輪車に乗るときや、自転車に乗せるときはヘルメットを着ける。

★やけど（炊飯器やポットの蒸気に触るなど）

炊飯器、ポット、鍋などやけどの原因となるものに子どもが触れないようにする。

子どもの事故の内容は、年齢によって特徴がありますが、多くの事故は親の注意や環境づくりによって防ぐことができます。ご家庭で事故防止対策ができていますか確認し、子どもを事故から守りましょう。

